

仏教学研究科 仏教学専攻 [修士課程]

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
<p>◆仏教学専攻[修士課程]</p> <p>仏教学専攻（修士課程）においては、建学の仏教精神に基づいて人間尊重の立場に立った研究活動を行い、以下の要件を満たした者に修士（仏教学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 仏教思想や仏教文化に関する総合的・体系的な学識と研究能力を身につけていること。2. 宗教関連、教育関連、メディア関連社会、福祉関連、等々の諸分野において仏教精神に依拠した高度な専門性を発揮しながら、自立した職業人、もしくは研究者として活躍できる資質と能力を有すること。	<p>◆仏教学専攻[修士課程]</p> <p>仏教学専攻（修士課程）においては、建学の仏教精神に基づいて人間尊重の立場に立った研究活動を行い、仏教学に関する専門的な知識を修得し、実践力に優れた専門的な職業人もしくは研究者を養成するために必要な教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 人間学・仏教系科目群を通じて人間学と仏教史の基礎を総合的に学ぶ。2. インド、中国、日本の仏教思想・文化をそれぞれ学ぶ科目を複数設け、各自の関心にしたがった多様な学びを通じて体系的な学識と研究能力を身につける。3. 「真宗概論」「真宗史」「真宗学特講」「浄土教理史」「浄土教特講」「真宗文献講読」などの選択科目を置くことで、本学と関わりの深い浄土真宗について総合的・体系的に学ぶことができる。4. 「現代仏教特殊研究」「近代仏教特講」「ターミナルケア特論」などの選択科目を置くことで、仏教精神に基づく社会実践活動について活躍できる資質と能力を養う。5. 「修士論文演習」などの研究指導によって、指導教員から個別的に高度な研究指導を受け研究者として活躍できる資質と能力を涵養する。